

A-3 地域包括ケア構築推進事業

健康福祉部 介護支援課

番号	質問	回答
1	<p>「中山間地域」「24時間在宅ケア」に関して、ICTやIOTを利用する方向性は検討しているか。</p>	<p>・県が平成28年度に過疎地域に訪問系介護サービスを提供している事業所に対して行ったアンケート調査によると、ICTを導入していない事業所は82.4%でした。導入していない理由について尋ねたところ、74.2%が「コストがかかる」と回答しており、それを受けてICT導入への支援について検討しましたが、導入費用に関しては「中山間地域特有の課題ではないのではないか」などの理由から、モデル事業における支援メニューには加えておりません。</p> <p>・定期巡回・随時対応型訪問看護介護事業所については、ほとんどの事業所がICTを利用しています。委託先の訪問介護事業所との情報共有におけるICTの必要性については、事例を通じて検討していく方向です。</p>
2	<p>「宅幼老所」が長野県独自の推進拠点となっているが、そもそもどのような経緯で、また必要性で発足したものであるのか。</p>	<p>・宅幼老所は、福祉サービスを提供する現場の皆さんによって、高齢者等に自宅と同じような、家庭的な雰囲気できめ細やかなサービスを提供する必要があるのではないかという思いからつくられてまいりました。</p>
3	<p>「宅幼老所」の名称（老というイメージはどうか）について改称する必要性はないか（リニューアルの意味でも）。</p>	<p>・「宅幼老所」の名称を使用している県内の事業所もあり、また、事業者の連絡組織として「特定非営利活動法人長野県宅老所・グループホーム連絡会」が平成12年に設立されており、「宅幼老所」又は「宅老所」という名称が定着してきていると考えています。</p>
4	<p>「宅幼老所」について、既存施設が有効に活用されていないと考えているのか、もう少し多機能な施設として運営したいと考えているのか、具体的にどのような課題・問題を抱えているのか教えてほしい。</p>	<p>・宅幼老所の多くは、介護保険制度における各サービス提供を基本として運営していますが、地域における福祉ニーズが複雑化・多様化している状況において、それぞれの地域で必要とされるニーズに対応するため、介護保険サービスに限らない幅広い役割が求められていると考えています。</p>